

はじめに



平成 22 年版千葉県環境白書をここに公表します。

本書は、本県の環境の現状や環境保全に関する施策の実施状況について平成 21 年度を中心に取りまとめたもので、昭和 46 年 1 月の創刊以来、第 41 回目の白書となります。

本県においては、産業活動に伴う大規模な公害はほぼ改善されてきているものの、光化学オキシダント、手賀沼・印旛沼・東京湾の水質汚濁、廃棄物の不法投棄など、依然として多くの地域において、様々な事業活動や日常生活にも起因する環境問題に直面しています。

また今日、地球規模の気候変動への対応が世界的な課題となっており、さらに、大量かつ多様な廃棄物の発生や天然資源の枯渇といった問題を生み出す大量生産・大量消費型の社会から、「循環型社会」への転換も喫緊の課題です。

これらの課題を解決し、美しい海や丘陵、豊かな生物など、本県の貴重な自然を次代の子どもたち、孫たちに引き継いでいくことは、私たちに課された重要な使命といえます。

こうした思いから、本県では、環境政策の新たなマスタープランである「千葉県環境基本計画」を平成 20 年 3 月に策定し、また、平成 22 年 3 月に策定した県民の「暮らし満足度日本一」を基本理念とする県政全般にわたる新たな総合的な計画「輝け！ちば元気プラン」において、「みんなで守り育てる環境づくり」を重点施策として掲げるなど、これらの環境問題に対する施策を積極的に展開しています。

身近な地域での環境問題から地球環境問題に至るまで、その解決のためには、行政だけでなく、何よりも県民の皆様とともにチームスピリットの精神を発揮して行動していくことが不可欠です。

この白書を通じて千葉県の環境について理解を深めていただくとともに、環境保全の取組を進める上での参考としていただければ幸いです。

平成 23 年 2 月

千葉県知事 森田健作